沖縄カトリック小学校　学校だより

# しらゆり

２月号

2024年２月１日発行

https://oces.catholic-okinawa.ed.jp

## ゴシップについて考える

副校長セクウェーラ・ナビーン・ジョセフ神父

神様は「裁くな」と教えます。「何事も愛を持って行いなさい」と教えます。神様は、人間を限りなく愛し、自分の似姿として存在させてくださいます。

そのような存在でありながら、私達は時に神様の教えに背き、愛を忘れ、人を裁いてしまうことがあります。人を裁いている事に気づかず、噂話や陰口を聞いたり、或いは聞いたことを友人に話したり、自ら言ってしまう事はないでしょうか？

陰口や悪口、つまりゴシップは、そこに居合わせない人について自分で感じた事、聞いた事を偏見をもって判断したり、人間関係を壊すような非難をする事です。私達は、どんな状態にある時、そのような事が口をついて出るのでしょう？自分は一人ぼっちではなく、他の人とつながっていたい時、不安定な気持ちになりたくないという思いからゴシップに捉われ、見かけだけの優越感に浸ってしまうかもしれません。自分や共にいる周りの人の弱さを隠すべく、他の人に目を向けてしまうのでしょう。ほんとうは羨ましいと思っている相手の評判、才能、ライフスタイル、自分もこうありたいという思いが叶わず悪口、陰口となってしまう事もあります。ゴシップを口にする人こそ、実は周りの評価の中にいたいのです。

では、ゴシップは、わたしたちにどのような影響を与えるのでしょうか。周りの人達の間に見えてくるのは、ゴシップの的になっている人と話している本人への不信感だけが増大します。他の人との関係がむしろ悪化し、人格が疑われたりして、自分に戻ってきます。口走りそうになった瞬間に押しとどめましょう。聞いた時、自ら言った時、自問してみる事が大切です。聞いている事、感じている事は正しい事なのか、裏付けはあるのか。ゴシップによって物事を決めたり、評価したりしていいのか等、改めて自分自身に問いかけてみましょう。

ではどうやってゴシップをとめたり、うわさ話を打ち切ったりすることができるのでしょうか。その人の良い所を認めてあげる事も、共に生きている仲間として大切な事です。さらに聖書は、力強くその助けとなってくれます。

① 「兄弟たち、裁きを受けないようにするためには、互いに不平を言わぬことです」（ヤコブの手紙・5:9）

② 「口を自ら制する者は命を保ち、いたずらに唇を開く者は滅びる」（箴言・13:3）

有名な哲学者ソクラテスの所に、見知らぬ人がやってきて、「やあ、ソクラテス、あなたの友人について話したいことがある」と言ったそうです。ソクラテスは「３つの条件を満たすなら、しっかり聞きます」と答えました。その人は「３つの条件とは？」ソクラテスは答えました。「第一に、私の友人について話そうとしていることは、その人についての良いことですか、悪いことですか」。その人は、「あいにく、悪いことだよ」と答えました。そこで、ソクラテスは「わたしはその話を聞くわけにはいきません」と断り、「第二条件として、その話は、真実ですか虚偽ですか」と尋ねると、その人は、「いや、まだ確証はないね」と答えたので、「では何も言わないでください」と言いつつ、「第三に、その話は、わたしやその友人にとって有益なものですか、無益なものですか」、その人は、「特に役には立たないね」と答えました。ソクラテスは「出ていってくだい。その話は聞きたくありません」とやりとりを終えました。

ソクラテスに倣って、誰かがうわさ話をしようとしたら、３つの条件にあてはめ、これらのフィルターにかけてください。①それはよい話でしょうか、②それは真実でしょうか、③それは有益な話でしょうか、問いましょう。情報化社会の今は、フェイクニュースやゴシップ記事に満ちています。もし、誰かが他の人の話に巻き込もうとしてきたら、「なんでそんな話をするのですか」と、愛と勇気で、人を裁く事をやめてもらい、自分自身もゴシップを捨てましょう。「主よ、私の口に見張りを置き、私の唇の戸を守ってください」（詩篇・141:3）

## 「校舎やみんなで使うものを大切にしよう」

二月の生活目標は「校舎やみんなで使うものを大切にしよう」です。「持続可能な開発目標」として二〇一五年に国連で採択された「SDGｓ」の中にある十二番に「つくる責任つかう責任」があります。企業や生産者には、限られた資源を効率よく使い、環境に配慮したものづくりを求めています。また、消費者には、ごみを減らす、繰り返し使う、資源の再利用を実践することが求められています。まさに「物を大切にする」ことに直結する目標です。

子どもたちは、机やいす・掃除道具、図書室の本や音楽室の楽器など、様々な「みんなで使う物」に囲まれて学校生活を送っています。私たち教員も学級や学校のみんなで使うものは、多くの人が長く気持ち良く使えるように丁寧に扱うことを、日々の教育活動で指導を継続しています。ご家庭でも、ぜひこの機会に「家族みんなで長く大切に使うもの」についてお話をしてみてください。

「物を大切にする」ということが、自分たちの暮らすこの地球の環境にもつながっています。まずは、自分のできることからこつこつと、自分の持ち物や身の回りの物を大切にしようとする気持ちを育てたいです。

学校生活部

## ２月・３月の行事予定

２月　３日（土）　学習発表会（保護者向け）
（午前２部・午後２部の学年入れ替え制）
３年生・６年生は家庭学習日
学年別登校のため、スクールバスは運行いたしません。
14日（水）　６年生を送る会顔合わせ（通常授業内で行います）
21日（水）　６年生を送る会（5・6校時に行います。）
22日（木）　金曜日の授業
24日（土）　転入テスト（児童は家庭学習日）
28日（水）　小５高１交流会（5・6校時）

３月　６日（水）　卒業感謝ミサ（６年生）・卒業式予行（5・６年生）
８日（金）　卒業式前日準備　（午前授業・給食無し）
※　スクールバスあり
※　ドライブスルーの時刻はメールでお知らせします。
９日（土）　卒業式（5・６年生及び家族）
※　４年生以下は家庭学習日。
19日（火）　修了式・大掃除
※　スクールバスあり

県内の新型感染症の状況により変更の際は、じんじんメールでご連絡いたしますので、必ずご確認下さい。
欠席連絡は、メールシステムをご利用ください。